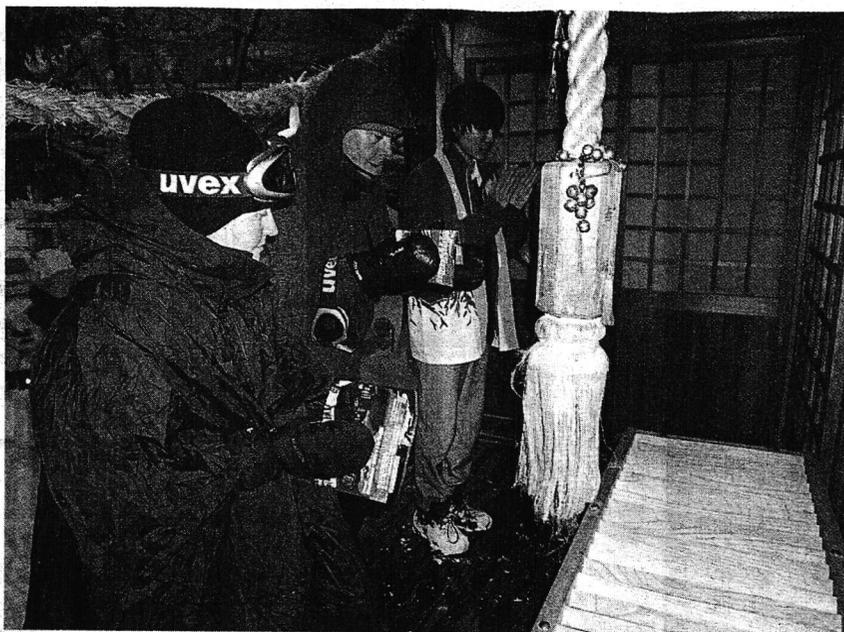


冬の夜祭りで 「おもてなし」

白馬岩岳 外国人観光客と住民交流



白馬高生が参拝の作法を教えた

白馬村岩岳切久保地区を会場に23日、初企画の「白馬岩岳」冬の夜祭りが開かれた。外国人観光客や地域住民らが多数来場し、日本情緒あふれる景観を愛でながらさまざまな催しを楽しみ、地域資源の価値を再認識した。イベントは切久保諏訪神社と切久保公民館を会場に実施した。切久保諏訪神社では氏子らが奇進した燈籠に火がともされ、多くの来場者が雪明かりに照らされて幻想的になった境内の雰囲気を楽しんだ。

同社は古来より千国郷の惣社として長い歴史を持つ、村指定の文化財。白馬高校の国際観光科の生徒が参加して外国人に英語で神社参拝の作法をレクチャーし、宮田貴夫宮司によるお



各地で真心のこもったおもてなし

はらい体験が行われた。参加者は高校生に倣い、神妙に頭を下げて日本流の祈りをささげていた。

切久保公民館ではかまくらや雪灯籠を作った歓迎し、来場者と参加による昔ながらの餅つきを実施。つきたての餅をぜんざいにして振る舞い、キッチンカーの出店で盛り上がった。周辺の民宿も全面的に協力。料理自慢のおかみさんらが、



昔ながらの餅つきを楽しんだ

手作りのこんにゃくの田楽や漬物を訪れる人に振る舞った。片言の英語ながらコミュニケーションもしっかりと取れ、等身大の「おもてなし」が来場者の感動を呼んでいた。民宿を営む福島英基さん・京子さん夫妻は「結構意味も通じて、ふれあいも楽しい」と満足げ。台湾からスキー旅行に訪れたリン・ワン・ワンさん(40)は「皆さんがとても優しく、素晴らしいイベント。本当に来てよかった」と話していた。イベントは国内外から訪れるスキー客らに日本情緒あふれる岩岳の魅力を発信し、活性化につなげようと企画。30日は新田地区を会場に開く。問い合わせは岩岳観光協会 ☎0261⑩2780まで。